

目 的

- (一) 慈善事業を行い、社会福祉の発展に寄与する。
- (二) 純陽宮は五経同源の理念で運営する。
- (三) 宗教講座を開き、教義を伝授する。これにより、心霊浄化、道徳の向上を図り、信者間の親睦を深める。
- (四) ^① 扶鸞闡教 ^② により救世、助民を行う。仙佛聖示に基づき、人々の心を浄化し、人々の生活の改善に力を注ぐ。
- (五) 他の仏閣、寺院との交流を深め、人々に広く教えを広め、安寧（平安）を願う。
- (六) 無極聖教玄門の真理を広める。同源道脈聖盟と共同で、宗教祭典を行い、五教皈依の天命を貫く。
- (七) 日本と台湾の民間レベルの友好を促進し、文化の交流をはかる。
- (八) 純陽宮はこれらの活動により、世界平和に貢献寄与する。
- (九) 宗教の主旨に関する総ての運営。

①扶鸞闡教とは

扶鸞: 神透過鸞筆將聖意真理轉達給世間人知道。

闡: 將真理發揚光大

教: 導引世間人向善

扶鸞: 神に指名された「鸞生」の身に神が降臨し、「鸞生」が手にした桃の木の鸞筆で一字一字を砂盤に記し、その聖意と大道の真理を私達に伝える神聖な行事。

闡: 真理を広めること

教: 人々を善の方向に導くこと

②仙佛聖示: 扶鸞闡教で伝えられた神のことば。

大道之行、天下為公とは

大道: 真理之路（真理の道）

天下為公:（天下をもって公となす。という孫文の有名な言葉）